



特定非営利活動法人 共同保存図書館・多摩
第33回多摩デポ講座(2018.8.6)より

図書館計画で書庫は どう考えた方がいいのか？

—いくつかの街の図書館づくりに参画して学んだこと—

寺田大塚小林計画同人 寺田芳朗



9784877515928

ISBN978-4-87751-592-8

C0037 ¥600E

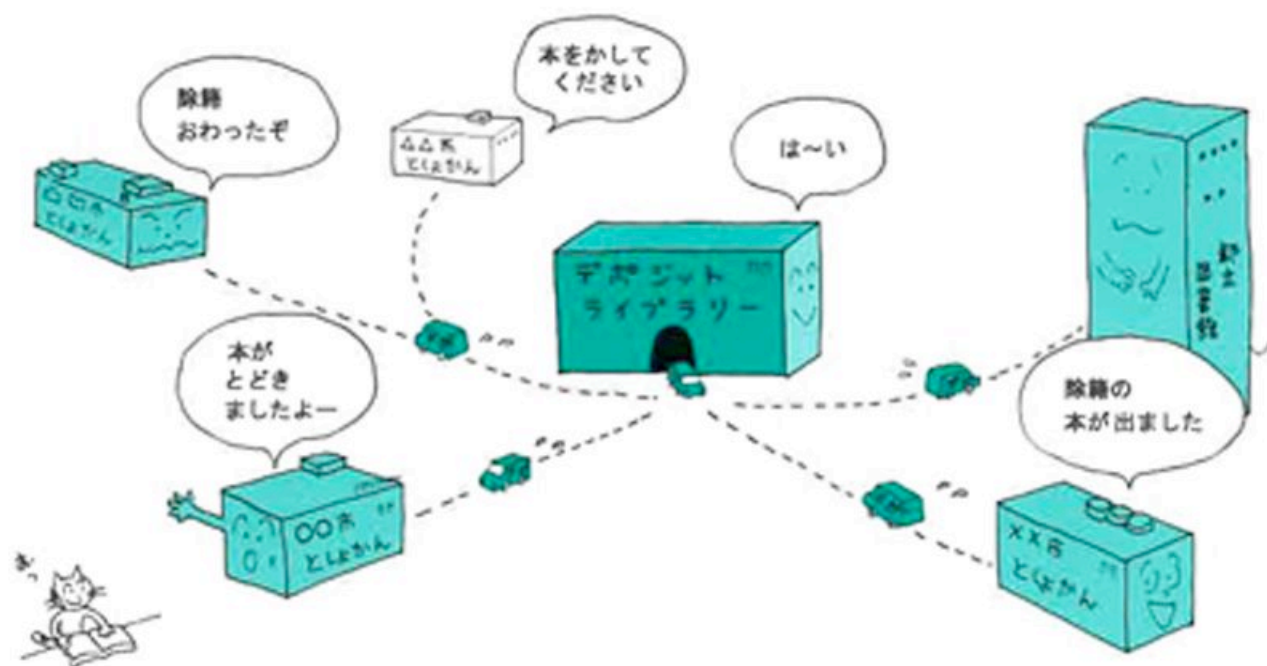
定価：本体600円（税別）

発売：株式会社けやき出版

発行：特定非営利活動法人 共同保存図書館・多摩



1920037006006



目次

- 1 図書館を学び始めた頃のこと——4
- 2 本日の研究会のテーマを予見した名著「公共図書館」——6
- 3 日野市立中央図書館の時代の「図書館基本計画」から——9
- 4 共同保存図書館デポジットライブラリーの予見と提案——12
- 5 図書館の書庫と建築基準法上の取り扱いの変化——13
- 6 紹介されたシカゴのデポジットライブラリー——17
- 7 その後に続いた、新しい市民の図書館に起きたこと——20
- 8 日野市立図書館の草創期の書庫論、図書館論をさがす——22
- 9 一九八三年大磯町立図書館の観察から一九九〇年荻田町立図書館書庫提案——25
- 10 一九九二年伊万里市民図書館での書庫の提案——30
- 11 伊万里型公開書庫に続いた書庫計画の試み——35
- 12 図書館計画と、建築の法律と、運用の安全（危機管理）——41
- 13 図書館計画と、その中心に居るべき図書館員の仕事——50